

まつしま

# 議会だより

第148号

令和3年11月1日発行  
宮城県松島町議会



シーズン到来！さあ、松島の牡蠣を食べよう！！（撮影場所：磯崎漁業組合）

- ◇ 令和2年度決算概要…………… P 2
- ◇ 各課に問う 決算審査特別委員会…………… P 8
- ◇ 議案審議…………… P17
- ◇ 7人の議員が熱弁(一般質問)…………… P20
- ◇ 町民の声…………… P32

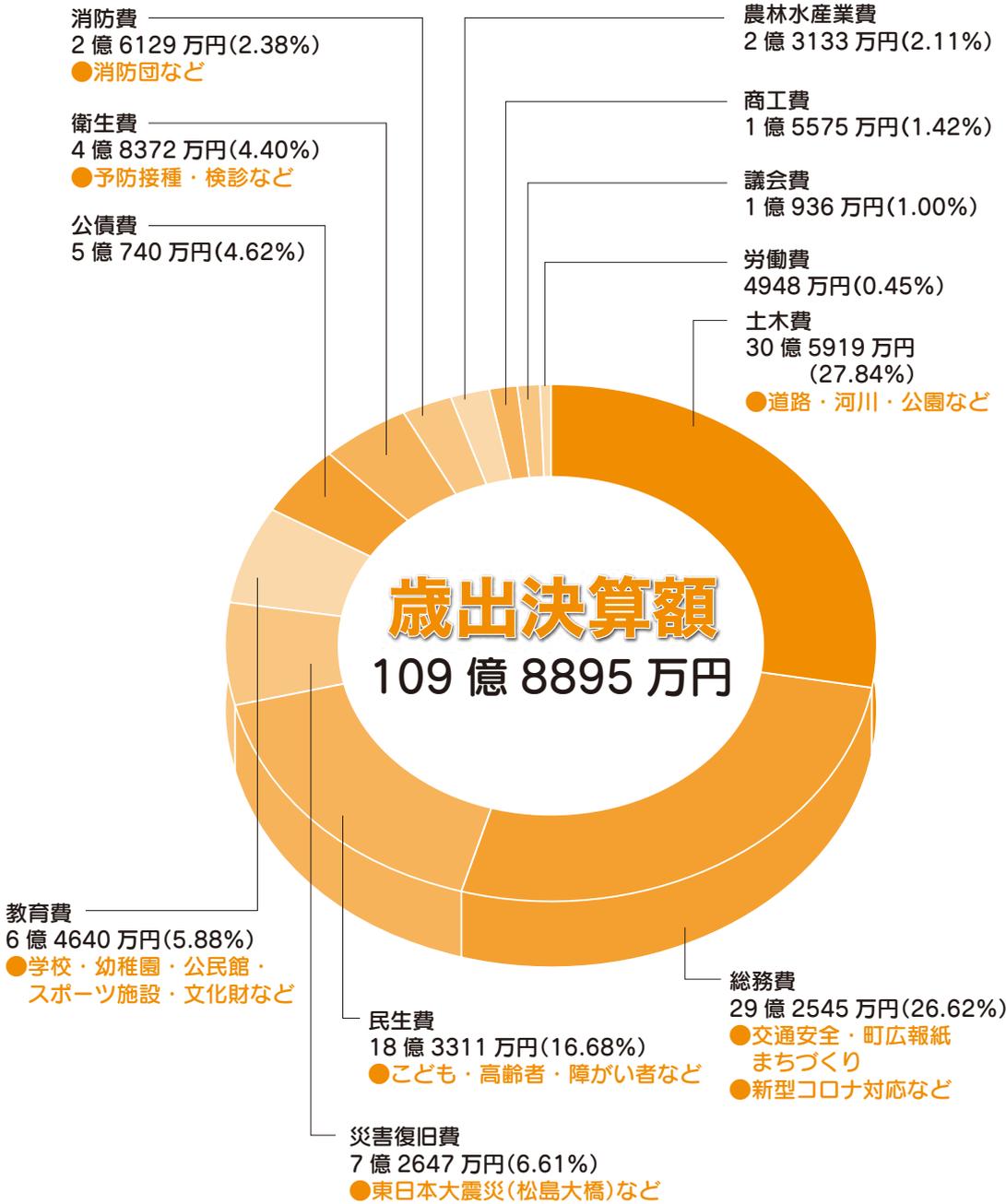
令和3年  
第3回定例会

[9月1日～9月16日]

# どう使われた？

令和2年度  
認定

## 歳出決算



令和3年第3回松島町議会定例会が、9月1日から16日までの16日間で開催されました。提案された内容は、議案14件(条例の制定および一部改正、各種会計補正予算)のほか、議員提案1件が上程されました。審議の結果、全て原案のとおり可決しました。

また、令和2年度各種会計の決算認定は、議長を除く全議員で構成する特別委員会を設置し、9会計を審議しました。

このほか、7人の議員が一般質問をしました(質問要旨はP20から)。

決算

※各構成比の数値は、四捨五入しているため合計の数値と合わない場合があります。

### 町民1人あたりの預金と借入金の状況は？

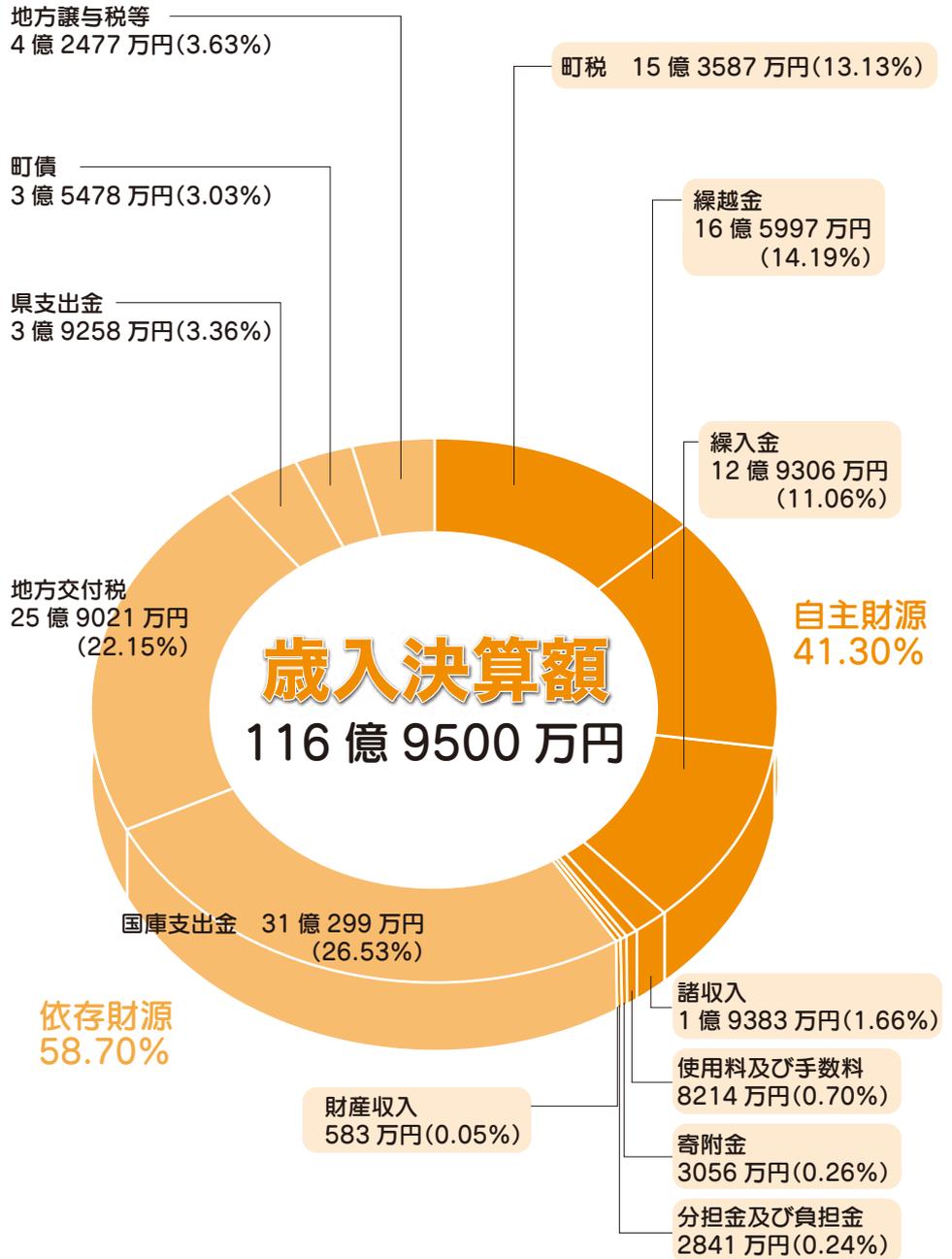
**¥預金は8万9千円**    **¥借入金**は**39万8千円**  
 財政調整基金現在高                      地方債現在高  
**12億1479千万円**                              **54億1084万円**

①町民ひとりあたりの金額は令和3年3月末日現在の人口1万3594人から算出しています。  
 ②預金は財政調整基金、借入金を地方債としています。現在高はR3年3月末の金額です。

# 一般会計の予算は

## 歳入決算

財源別の比率



### 主なつかいみち

- 土木費**  
避難道路整備事業  
(東日本大震災復興交付金事業)  
93億1825万円
- 総務費**  
特別定額給付金事業  
13億8606万円  
新型コロナウイルス感染症  
対応地方創生事業  
3億8741万円  
松島海岸駅整備事業  
1億1650万円
- 民生費**  
台風第19号災害廃棄物処  
理費、高齢者・障がい者等の医  
療給付費、子育て支援費など
- 災害復旧費**  
松島大橋、台風第19号等の  
災害復旧事業費など
- 教育費**  
町立学校情報通信ネットワ  
ーク環境施設整備事業、中学校  
プール解体工事など

### 各特別会計歳入歳出決算額

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	17億2366万円	16億8218万円
後期高齢者医療	2億591万円	2億558万円
介護保険	20億336万円	19億5116万円
介護サービス	732万円	731万円
観瀾亭等	6506万円	5717万円
松島区外区有財産	180万円	180万円
下水道事業	18億3218万円	18億529万円

(万円未満四捨五入)

### 水道事業会計収支決算額

区分	収入	支出
収益的収支	5億3819万円	5億1512万円
資本的収支	3億1042万円	4億6081万円

(万円未満四捨五入)

※水道事業会計の資本的収支に不足する額1億5039万円は、減債積立金取り崩し等で補填した。

### 自主財源と依存財源とは？

**自主財源**とは、町税や、施設を利用する時の使用料、住民票や印鑑証明書を取るときにいただく手数料などで松島町が自主的に収入することができるお金のことを言います。  
**依存財源**とは、道路や施設をつくるときに国などからもらう国庫支出金や、借りる地方債、国や県から一定の基準でもらう交付金や譲与税がこれにあたります。

## 歳入歳出差引額 7億605万円

決算収支は、「黒字」になりました。主に令和2年度繰越事業(3億1053万円)のほか、財政調整基金へ積立(2億2000万円)と令和3年度一般会計予算に繰り越しされます。

# 監査委員決算審査報告

## 一般会計

決算収支は、前年度同様に黒字となった。①東日本大震災復興交付金事業は、平成23年度からの復興交付金事業49事業（総事業費224億円以上）が令和2年度末で概ね完成した。



赤間幸夫議選監査委員

丹野和男代表監査委員

今後、町民が安全に施設を使用し、地域活性化への一助となるよう適切な対応を望む。②令和元年台風第19号災害は、繰越された災害廃棄物処理のほか農地や各公共施設の復旧工事等が完了した。

③新型コロナウイルス感染症対策事業は、特別定額給付金事業をはじめ、地方創生臨時交付金を活用した支援や環境整備事業などが実施された。我が町は観光産業に支えられている面が大きき、業績回復に向けて、この難局を乗り越えられるよう望む。

そのほか、子育て世代の一助を担うものとして認定こども園建設を松島町社会福祉協議会と連携し事業に着手したことで、長年の課題解決に一步踏み込んだ。

## 国民健康保険特別会計

令和元年台風第19号や新型コロナウイルス感染症による収入減少で保険税が減免措置され、収入未済額は前年度より減少となったことは、被保険者の事情に沿った窓口対応での成果である。保険事業では、対面方式の相談事業の確保が難しい中で、特定健康診査の受診率と特定保健指導の参加率が前年度より減少した。

生活習慣病予防事業での肥満者と運動習慣で、男性の割合が前年度より増加した。引き続き被保険者の健康維持に努めるよう望む。

## 介護保険特別会計

要介護・要支援認定者数は、前年度に引き続き増加した。また、保険給付費も同様に増加傾向であり、今後も続くものと思われる。

介護保険財政調整基金の適正な運用を継続しながら介護保険基盤の安定に努めるよう望む。

## 観瀾亭等特別会計

観瀾亭及び松島博物館の観覧人数並びに福浦橋カフェ・ベイランドの通行人数は前年度に比べ減少した。新型コロナウイルス感染症対応の行動自粛により観光客の落ち込みの影響が大きく、運営する施設も打撃を受けており、感染対策やワーケーションなど、誘客に向けた情報発信を望む。

## 下水道事業特別会計

人口及び戸数の水洗化率はそれぞれ増加し、下水道の整備率は86.9%。最近の豪雨が懸念される中、内水対策で下水道の役割はさらに高まっており、災害対策の一助を担う当該会計は引き続き適正な施設管理が求められる。また、汚水処理費の使用料収入が減少傾向である。

ることから、一般会計からの基準外繰出額が過大とならないよう経営環境の変化に対応した適切な運営を求める。

## 水道事業会計

新型コロナウイルス感染症拡大防止による水道料金減免措置を2回実施された。水道事業収益は減益となるが営業外収益で地方創生臨時交付金が増益となった。財政状況は概ね安定した経営となっており、町の規模に適した水道事業経営である。

## 総括報告

略の見直しが求められる。令和2年度松島町一般会計、各特別会計歳入歳出決算、基金運用状況、水道事業会計決算は、決算審査に基づき、概ね適正であると認める。また、財政健全化判断比率及び資金不足比率に関する審査では、早期健全化基準及び経営健全化比率を下回り、基準内であった。

## 町の財政状況は基準内です

指標の名称	松島町の健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	-	15.00
連続実質赤字比率	-	20.00
実質公債費比率	7.0	25.00
将来負担比率	13.1	350.00

会計の名称	松島町の資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	-	20.00
下水道事業特別会計	-	20.00
観瀾亭等特別会計	-	20.00

- ①財政健全化判断比率の実質赤字額または連結赤字額がない場合や資金不足比率で各会計が基準を下回る場合には、それぞれの比率を「-」で記載します。
- ②この指標は、町の財政状況を統一的・客観的に理解することができ、今後の財政措置に対応するものです。



杉原 崇  
議員

**問** 防犯カメラの設置が必要では

犯罪の抑止力として防犯カメラの設置が必要と考えるかどうか。

**町長** 高城駅前の新設したトイレに防犯カメラを設置したが、観光を含め町全体としてどこに防犯カメラが必要なかを検討していきたい。

**LINEの活用方法は**

**問** 情報発信のツールとして、LINEの運用を始めるが、当町における活用方法は。

**企画調整課長** 10月1日から供用を開始していきたい。まずは町民が知りたい情報、防災情報をメインに流していきたいながら、その後各種サービスを展開していきたい。

**学力向上策は**

**問** 学力向上は教師の授業力向上とともに、家庭学習の習慣化が大事だと考えるが、当町における取り組みは。

**英語教育の充実を**

**教育長** 学校で一所懸命勉強したものをどう家庭に戻って定着させるかということが大切になる。ただ、やれる子もいればやれない子もいるので、子どもの実態に応じた家庭学習の在り方を確認していきたい。

**問** 授業時数を別の教科等に乗せられる授業時数特例校制度が始まる。当町でも特例校申請し、英語教育にさらに力をいれるべきと考えるが。

**教育長** 小中連携英語教育推進事業を行ってから、教師は子ども達と一緒に楽しく授業を展開しており、レベルも上がっている。さらに英語のレベルアップをしていこうと教育課程特例校(英語特区)の申請を行なった。今後も子ども達の英語のコミュニケーション能力を高めていきたい。



高城駅前トイレに設置した防犯カメラ



英語の授業(松島第二小学校)



高橋 幸彦  
議員

**東日本大震災復興交付金の返還は**

**問** 総事業費約224億円の復興交付金の返還金額と時期は。

**副町長** 12月中にまとめ、補正予算として提出したい。金額は、交付金基金の利子984万8354円を合わせてトータル9億7496万4364円である。

**公共施設の維持管理費は**

**問** 一昨年の9月議会、私の総括質疑で公共施設のファシリテスマネジメントについて質問した。町長は平成30年3月に策定した松島町公共施設等総合管理計画を基本に、町の人口動態のバランスを考えて管理を進めていくとし、また、集会所の統廃合はコミュニティ事情を最優先に考えてほしいとの質問には、地域と相談しながら進めていくと答弁している。それは進んでいるのか。

**町長** 現在、道路・橋りょう・上下水道・公営住宅・学校・社会教育施設等の13施設の長寿命化計画を策定済みである。集会所等についても、今年度に区長会や各地区に伺って町の考えを示している。

**総務課長** 集会所については、昨年8月の行政区長会議で町の考えを示し、地元で直接説明して意見交換を行った。その後、各12行政区からの意見もいろいろあり、令和3年1月下旬に区長会へ報告している。地域としては、施設が耐震基準を満たされていない場合も施設を残したいとの意見もあった。今後とも、各地区と合意形成を図っていきたい。

**企業誘致と移住定住対策は**

**問** 東北放射光施設が2023年度に稼働する予定であるが、それに関連しての企業誘致は。また、今後の移住定住対策は。

**町長** 企業誘致については、初原地区の工業系地区を考えている。今議会でも移住定住補助金の増額補正を提案した。松島のネームバリューを利用して国のテレワーク推進策を活用させたい。



高橋利典  
議員

道の狭いところの樹木の伐採等については、国交省で危険な状態になれば切るといつている。その相続者の方とお話をさせていただき、切らせていただいで安全対策を取っていきたいと考えている。

不法投棄者に罰則を

**問** 美化促進に関する条例では、違反者に対し警告しかできない状況になっている。罰則規定を制定しては、

**総務課長** ごみ集積所で回収対象でないものは不法投棄という扱いになる。ステッカーを貼って一定の期間周知をした上で、どうしても持ち帰らないときは町のほうで回収するということになる。

**副町長** 罰則規定ということであるが、まず町民の皆さんには規定に沿った物の処理の仕方を啓発していければと思っている。

土地開発基金の運用見直し

**問** 土地開発基金は、昭和45年に制定され、平成18年3月に改定された。目的は、公共に供する土地または公共の利益のために取得する必要のある土地を取得し、事業を円滑に執行するためのものである。現在2億3千万円が基金としてあるが、廃止も含め今後どのように運用するのか。

**副町長** 復興事業について、先行取得のため基金から一般会計に繰り入れして土地を買っていることもあり、土地開発基金は、事業を執行する上で必要であり、廃止は考えていない。また、基金残高が適正か否かは、今後協議していくべきと思う。



色川晴夫  
議員

**職員の中途退職をどう考える**  
**問** 近年、若手職員の中途退職が増えている。難関と言われている地方公務員試験に合格し、希望に満ちて職務にあたっていたかと思う。職業選択の自由はあるが、本町にとって大変な痛手である。このような状況をどう考えるか。

**町長** 非常に残念に思う。仕事で自分のイメージと違うなどの相談もある。また、民間や他市町の公的職員、結婚による退職もある。同様の悩みは、近隣の首長も同じである。町として、仕事を覚え、ますます力を発揮してもらうためにも留意する。

地域おこし協力隊の導入は

**問** 産業振興、地域課題の対策手段として、何度か質問している。町長は「活用に向け検討する」と答えているが、進んでいない。報道では現在、全国の多くの市町村で導入され、国は来年度予算で今年度の3倍を計上する予定とのことである。改めて導入の考えは。

**町長** 導入に向け事業者と話し合いをしているが、課題も多く、手を挙げざる事業者がないのが現状である。宮城県を通じ財源も踏まえて、今後も継続して検討していく。

仙台松島線未改良区間の整備は

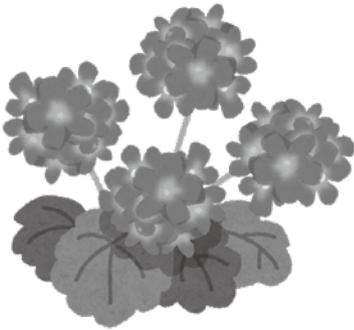
**問** 通行の安全のためにもこの道路の改良が求められている。せめて、路肩の改修を求める。

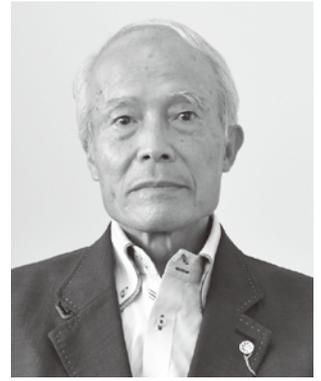
**建設課長** 仙台松島線については車道拡幅改良、歩道の設置、大和松島線との交差点の改良を県に要望しているが、早い段階の実施には今のところ回答がない。今後交通量の推移を確認しながら検討していくと宮城県から回答がある。実際は車道外側の舗装もない状態の箇所がある。路肩部分を広げ舗装するなど、早急に県に要望していく。

愛宕山下歩道の安全対策を

**問** 愛宕山下国道45号沿いに歩道が狭くなっている所があり歩行に支障が出ている。通学路でもあることから樹木の伐採等対策を求める。

**建設課長** 用地買収について相続者の方1人と協議をしているが、相続者が子ども、孫の代までと整理できない状況になっている。その中で歩





片山正弘  
議員

**役場庁舎建設は**

**問** 庁舎建設に伴う地権者との協議は進んでいるのか。

**町長** 当初10年を予定し、賃貸借で仮庁舎を建設した。現時点の町財政では新庁舎建設は難しい。仮庁舎用地については、何度か地権者と話し合いをしたが土地の売買には会社として好ましくないと言われた。町は、今後、何年借りられるか、今年の7月に話し合いをした。

**総務課長** 土地の賃貸借は、令和5年度末で契約が終了するが、20年間程度の延長ができないか協議してきた。地権者より一応了解をいただいた。

**問** 前回は、10年間の延長で話を進めている。今回は庁舎建設については20年間の延長なのか。

**総務課長** 建物自体の耐用年数が40年以上あるので、20年で話をした。

**問** 最初から40年以上もつ建物だから20年間の延長なのか。

**総務課長** その通り。令和4年度後半以降に改めて詳細を詰める。

**問** 4億5千万円庁舎建設基金に年5千万円を積立している。今後の取り扱いを考えるべきではないか。

**副町長** 議会と協議しながら、基金の取り扱いを検討し、より良い有効活用について、内部で相談している。

**雨水対策は**

**問** 震災復興事業が終わり、次の段階で町内全体の低土地の調査と雨水排水対策を早急に進めるべきではないか。先の質問では、調査する方向であると答弁しているが。

**副町長** 高城地区エリアは、下水道区域であり、整備は単純に見積もって費用が多額になり方策は3つぐらいしかない。下水道法の事業認可変更に向け、担当部署での見直し作業に取り組んでいる状況である。



菅野良雄  
議員

**決算の補正額と繰越明許費について**

**問** 2年度決算の補正額と繰越明許費を見て町長はどう思ったのか。

**町長** 震災復興事業の最終年度ということ、繰越事業をやらないと全て完結できなかったと思っている。議会の意見を聞いて進めてきたが、間違いなかったと思っている。

**事業経費は当初予算に計上すべき**

**問** 認定こども園は、来年度建設するため今設計していると聞くが、その都度に補正するのではなく、当初から予算を計上し議会の議決を得たうえで進めたほうがいいのではないか。

**基金運用の在り方について**

**問** 決算時の基金総額は41億2800万円程で、複数の金融機関に定期預金として基金個別運用方式で管理している。基金個別運用は財産管理の観点で安全・確実ではあるが、運用の点では効率的ではない。

そこで、各年度の基金運用計画を策定し、庁舎建設基金のような多額

の残高は中長期に維持される部分を明確にして、それを株式などの有価証券や国債で運用することで利回りを向上させるほうが得策ではないか。株式はハイリスク・ハイリターンということで危険であるが、国債は元本が保証されメリットがある。歳入を増やす財政改革のひとつになればと思ひ提案するが。

**町長** いい発想と思つて聞いていたが、行政が株や国債を運用するのはいかがなものかと。税金を預かって行政運営しているわけであり、リスクを負った場合に誰がどういう責任をとるのかと思ひながら聞いていた。今議員が話した内容が正しいのか正しくないのかも含めて、私や会計管理者もいろいろ勉強をしたいと答えておきたい。

**タウンミーティングの成果は**

**問** 施政方針で述べていた、タウンミーティングは2回だけの開催であったが、町長はその成果がどのような形で出たと感じているか。

**町長** 商工会の青年部や第五小学校の幼児の父母の方と現状の問題点とか松島に移住してどういったことがよかったか、また、移住・定住について逆にこちらがアドバイスもらえとか話し合いはしつかりできたと思つている。機会があれば、またやっていきたいと思う。

## 企画調整

**問** 今回、移住・定住ガイドブック更新版を1600部作成し、県外施設に配布ということだが、その場所は。

**企画調整課次長** 東京都池袋の宮城ふるさとプラザに100部、有楽町のみやぎ移住サポートセンターに50部、あとは東京、大阪、愛知にある宮城県の関連施設に10部ずつ発送している。

**問** 大変重要な会議であるまちづくり検討委員会の欠席7人というのは多過ぎるのではないか。

**企画調整課次長** 事前に決定していたが、直前に都合が合わない方々が出てしまった。要綱と照らしあわせて半数以上出るということで実施させていただいた。

**問** 庁舎内検討委員会は20名で構成していると思う。職員、班長の意見などがいける出ると思うが、まとめていく段階でその意見が反映されることはあるか。

**企画調整課次長** 今回の委員会ではこういった議論、提案があったということ。最終的には企画のほうで集約している。

賃貸にある空き家の相談窓口

### 全国空き家相談ホットライン

03-6826-1170  
06-4708-6778

親の家や田舎の家ー自分に必要のない空き家の対策に困っていませんか？

- 親から相続した家を空き家にしていない。
- 空き家を賃貸や売却して収入を得たいが、相談窓口がわからない。
- 空き家の空き家対策をしてくれませんか？
- 空き家に所有している空き家のことで、その他団体から手紙が来た。対応の仕方が知りたい。
- 空き家でなく、親の家を空き家にする予定がある。
- 住んでいる家で相談して、建物の解体や売却などの対応をしたい。
- 空き家対策の補助金と、それ以外のサポートメニューを知りたい。
- 空き家にならないためにしておくことがあれば教えてほしい。
- いつかこの家に空き家を所有しているが、また空き家にならないようにしたい。
- 相続人がいるが、空き家の空き家にできる対応を知りたい。

こんなことがあれば、一歩お電話ください。

RECA 一般社団法人全国不動産コンサルティング協会  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL: 03-6826-1170 FAX: 03-6826-7878 mail: info@reca.jp HP: http://www.reca.jp

令和2年度 二年度国土交通省「空き家対策の取り組み強化」連携モデル事業(実施団体)

町のホームページより

## 総務・環境防災

**問** 職員の健康については、異常なしの方が少ない。運動や食事についても講習するなど、抜本的な改善のための対策は考えているか。

**総務課長** 衛生委員会も毎月やっている。健康長寿課の保健師や栄養士のアドバイス、また厚生労働省で出している情報などを職員に周知して対策はしているが、今後の課題の一つかと思う。



古浦集会所

## 集会施設の廃止は

**問** 集会施設について令和2年度は3地区で説明会を行ったほか、12行政区から意見をいただいている。今後の考え方としては30年以上たった施設や耐震性が不十分な施設は廃止していきたいとのことだが。

**総務管理班長** 廃止の提案した集会施設が10施設である。古浦集会所、後根廻支館の2ヶ所は廃止しても構わないという答えをいただいている。後は何らかの方

法で残すことはできないかという意見もある。

**問** 個人所有の土地の中にいろいろな物を保管している場所があるが、町として指導する方法はあるのか。

**環境防災班長** 臭いや害虫などの苦情があった場合は、町のほうから所有地の管理を適切に行うような通知を出し、できるだけ改善するうにお願いをしている。

**問** 町で処理できないタイヤなどが投棄される。有料で回収する業者もいるので、町で斡旋して回収してもらえれば対策を取ってほしいが。

**危機管理監** いろいろなケースがあると思うが、行政という立場で斡旋という形は難しい。周知方法を検討させていただきたい。

## 移住・定住促進は

**問** 空き家バンク対策を生懸命やっているが、令和2年度時点においてどのぐらいの空き家登録となっているのか。

**企画調整課次長** 平成28年に調査を実施しているが、その後の確認をしていないので、現時点での数字は把握していない。

## 産 業 観 光

**問** 桜渡戸では、今年4名が稲作をやめ休耕状態になっている。大型機械も入らず農業振興地域でもなく、国・県の補助対象にならない。町独自で排水路等の整備事業はできないのか。

**産業振興班長** 桜渡戸・初原地区で遊休農地が増えていくが、町独自での事業は費用の面など現時点では方策がない。

**産業振興班長** 貸し農園など畑にする場合、土盛などの費用が発生する。費用を誰が負担するかなど、個人の財産でもあり畑への転換は難しい。

**観光班長** 動画は、YouTubeに6か月前にアップし約4000回以上再生されている。今回、水森かおりさんの動画を製作した。利府イオンの大型ビジョンで流し、近隣の方々に足を運んでいただく取り組みにしたい。



海岸地区

## 財 務

**問** ふるさと納税の楽天ホームページへの掲載料金15万余円が上がっているが、その実績は。

**財政班長** 決済手数料145件中25件、8万1378円が楽天分で、扱ったふるさと納税の実績は269万4000円である。返礼品別では、加工食品、宿泊券・チケットがともに12件、セット・詰め合わせが1件である。



我が町ふるさと納税総合情報サイトより

**問** 前年と比較し、フットボールセンターの入場者傷害保険料が無くなり、自然公園草刈り業務等委託料が3分の1の額となっているがその理由は。

**財政班長** 県サッカー協会と同様の保険を掛けていた。草刈り業務の樹木剪定は、県サッカー協会で行ってもらうことに協議が整ったためである。

## ふるさと納税ポータルサイトの充実を

## 観光親善大使プロモーション事業の活用は

**問** 教育旅行のワークブックは良いものと思ったが、新型コロナが厳しい中で、今後の教育旅行をどう考えているか。

**観光班長** 動画は、YouTubeに6か月前にアップし約4000回以上再生されている。今回、水森かおりさんの動画を製作した。利府イオンの大型ビジョンで流し、近隣の方々に足を運んでいただく取り組みにしたい。

**問** 松島区外区有財産特別会計は廃止をする方向だが、現状はどうなっているか。

**財政班長** 松島区の土地貸付料は、令和2年に6ヶ所中5ヶ所を一般会計に移行した。積立金の多い松島区から廃止と説明してきたが、積立金の少ない区と協議し、手樽区と初原区は、令和4年度当初で廃止する方向である。

## 健康長寿

**問** 避難行動要支援者対策事業において、支援者名簿登録者数793人と示されているが、登録されていない方への周知についての考えは。

**高齢支援班長** 令和2年度は民生委員の個別訪問を控えていたので難しかったが、今後はまだ登録をされていない方に働きかけを行っている。介護認定の方には認定の結果が出たときにガイドブックで説明している。

**問** パルスオキシメーターや自動血圧計貸出し方法は、健康づくり班長 電話でお申し込みをいただいた後、職員が自宅に届けるが、対面が難しい状況なので、事前に連絡し「ドアのところ」に下げさせていただき「ました」という連絡をして、直接会わずに帰る。

**問** 子宮頸がんのワクチンの接種者が令和2年度で1人しかいなかったが、接種への勧奨の考えは。

**健康づくり班長** ホームページや広報で周知し、対象者にはチラシの配布を行う予定である。

**健康長寿課長** もし判断に困って悩むようなときには、ぜひどんぐりの保健師に相談してほしい。



HPV ワクチンに関するリーフレット (厚生労働省)

## 町民福祉



児童相談所の虐待相談対応ダイヤル189

**問** マイナンバーカードの交付率は。

**町民サービス班長** 令和3年8月末で、37.32%となっており県内では11番目の交付率である。

**問** ファミリーサポートセンター事業の協力会員は7名だけなので、会員を増やす方策は。

**子ども支援班長** 広報やホームページで周知を行っているが、約24時間の講習が必要なので、会員を増やすために、効率よく済まされるような取組を検討していきたい。

**問** 子どもの虐待の実態は。

**子ども支援班長** 松島では報道になるような虐待案件はないが、生活指導が必要と思われるケースは見受けられている。警察から児童相談所に通告があったケースもあつたが、児童相談所と町で訪問し、補助的なケアやあざ等がないのを確認している。

**問** 令和4年度を目標にしている子ども家庭総合支援拠点とは。

**子ども支援班長** 子ども家庭支援員を配置し、子どもと身近な場所における子どもおよび妊産婦の福祉に関する支援業務を一体化して継続して行っていくソフト事業である。

### 子どもの虐待の実態は

# 各課に問う

## 教 育



元禄潜穴

**問** 小学校、中学校の交通安全対策としてスクールガードリーダーがいるが、全体的な安全対策は行ったのか。

**教育班長** 不審者等の情報が入った場合は、スクールガードリーダーにお願いするだけではなく、教育委員会の職員や学校の先生も登下校の見回りをすることで、みんなが注意深く、時間帯も配慮しながら実施した。

**問** 不登校の児童生徒の状況は。

**教育班長** 令和元年度は小学校が11人、中学校が16人の合計で27人。

令和2年度は小学校が9人、中学校が14人、合計で23人となっている。

**教育長** 令和3年度に入り、新規の不登校数は激減している。

**問** 元禄潜穴の穴頭が埋るのではないかと。環境保全について、町は県と協議しているのか。

**生涯学習班長** 今のところ協議はしていない。教育委員会でも検討し、対応を考えていきたい。

**問** 子ども達がタブレットを持って野外学習することもあると思うが、各文化施設でのWi-Fiの整備状況は。

**中央公民館長** 文化観光交流館については松島フリーWi-Fi、勤労青少年ホームについてはソフトバンクのWi-Fiスポットが整備されている。何台まで一気に接続できるのか分からないので、調査する。

## 建 設

### 国道45号拡幅の進捗状況は

**問** 高城駅前町の国道白萩南線外避難道路の安全対策は。

**建設課長** 道路幅が広がり、徐行の路面標示を最初入れさせていただいた。車のスピードが少し上がったので、ポストコーン（高さ80センチのポール）を歩道と車道の間につけて、少し様子を見たい。

**問** 松島海岸駅から松島駅までの国道45号拡幅の進捗状況は。

**建設課長** 松島海岸駅から伊達政宗歴史館までは歩道整備が完了しているが、伊達政宗歴史館から松島駅までについては看板の補償費の協議が整っておらず、1件用地買収が完了していない。



町道磯崎・高城町駅線（高城町駅前）

### 元禄潜穴の穴頭の管理は

## 水 道

### 企業債の償還は

**問** 二子屋浄水場の建設事業での企業債の償還は。

**水道事業所長** 企業債は全体で約20億円になる。利息は次の年度から発生するが、元本は5年据置きで、30年で返還となる。

反対

今野 章 議員

消費税増税と引き換えに幼児教育・保育が無償化されたが、低所得世帯に恩恵は少なく給食費の減免をすべきた。学校給食も値上げではなく無償化や減免を検討すべきである。集会施設の地区移管計画は、耐震や水回り修繕、維持管理費や水害対策の考慮を。様々な個人情報、医療や預貯金情報まで紐づけ、セキュリティに不安があるマイナンバー制度には反対。生活保護申請の扶養照会は申請者の意向を重視し、障害者医療費助成は現物給付にすべき。保育所体制に不安があり正規職員の確保を。自衛隊機の低空飛行の原因究明と爆音から住民生活を守れ。後継者不足が深刻な農業など一次産業に思い切った支援を。米価下落が激しく農家所得を補償する米価ではない。生産調整など農家の自己責任だけでは問題の解決が図れない。農地の荒廃を生み出す農政の転換を求め反対する。

賛成

高橋 幸彦 議員

令和2年度は、東日本大震災からの復興期間の最終年度である。前年度から繰り越しとなった東日本復興交付金事業と令和元年台風第19号の災害廃棄物処理や農地・公共施設等の災害復旧工事が完了したが、新たに新型コロナウイルス感染症対応事業が加わり、約17億円の補正予算が増額された。監査意見書にもあるとおり、庁内組織が連携し、遅滞なく各事業を進め町民サービスに努めた決算内容となっている。また、議会が長年要望してきた認定こども園事業が始まった。令和5年4月開園に向けて、子育て世代等が不安を持たないよう社会福祉協議会と連携し、事業を進めてほしい。

監査委員の指摘どおりに予算の執行は適正であり、町長の施政方針の実効性についても目標が達成されている。全くの同感である。

しかしながら、今後の町の財政は厳しいものであり、次年度以降も適正な予算執行を期待して賛成の討論とする。

こんな理由で

賛成です

賛成

今野 章 議員

国保は、65歳以上の加入者が半数を超え、高齢化と加入者の減少が続いている。国保税の法定減免世帯は加入世帯の約6割。加入者は担税能力を超える負担を求められている。その要因は、国が1984年以降、国保への定率国庫負担の抑制・削減を続けてきたため、町長は国庫負担の増額を強く求めるべきである。

その上で、これまで国保の予算や決算には、財政調整基金を使つての国保税の引き下げ、子どもの均等割の減額などを求め反対してきたが、令和2年度は、令和3年度からの国保税の応益割の引き下げ、子どもの均等割をなくす準備がされた。

また、新型コロナウイルス感染症対応として、国保税の減免と共に個人事業主の傷病手当金の制度を作るよう求めたところ全国に先駆けて制度化された。中小の個人事業主が安心して働ける環境が用意されたもので決算認定に賛成する。

賛成

後藤 良郎 議員

国保はこれまで町民の皆様の医療の確保と健康増進に大きく寄与してきたと考える。しかしながら急速な高齢化の進展により医療費は増加の一方である。国保の健全運営には収入未済額の減少と療養給付の減少が一番である。そのためには税源の安定的な確保が大変重要である。

特別滞納整理室等を中心に各種税の徴収推進を行いながらの税源確保や住民健診や特定健診及び胃がん、前立腺がん、大腸がんなどのがん検診やデータヘルス計画に基づく保険事業を行っており町全体で健康づくりのための予防措置が図られていると評価するものである。

今後、一層厳しい国保運営が予想されるが、これからも町民の大切な生命と健康を守るために必要な医療保険制度であると考え賛成の討論とする。

### 後期高齢者医療特別会計

## 反対

今野 章員 議員

後期高齢者医療制度は、公的医療への財政支出削減のため「医療構造改革」の一環として2008年に開始された。

75歳になると、国民健康保険や協会健保などから脱退し加入しなければならぬ。また75歳以上の人口が増えると保険料が上がる仕組みで、保険料の上昇が続いている。

低所得者に対する保険料均等割額の軽減割合は、令和2年度以降は制度本来の7割軽減となり、負担は重くなっている。

さらに医療の窓口負担を1割負担から2割負担にすることが狙われるなど、必要な医療が経済的理由によって受けられなくなってしまう。

消費税増税、マクロ経済スライドによる受取年金の減少、年金から天引きされる後期高齢者医療や介護保険の保険料の増加など、高齢者の暮らしは圧迫されるばかりで、高齢者の健康と命を脅かす後期高齢者医療制度は廃止すべきである。

## 賛成

杉原 崇員 議員

後期高齢者医療制度は、老人医療費が増大する中、高齢者が安心して適切な医療の確保のため、高齢者の方々も含めた社会全体で支えあうよう、平成20年4月から制度開始され、現在は安定した運営がなされている。

本町では運営母体である宮城県後期高齢者医療広域連合と連携し、保険料徴収、各種申請など窓口業務を行ない、また令和2年度は令和元年台風第19号や新型コロナウイルス感染症により影響のあった被保険者への支援として、一部負担金免除申請や保険料減免申請の受付事務を行なうなど、事業運営をしっかりと実施したものと考える。

今後、被保険者数が増加する見込みであることから、宮城県後期高齢者医療広域連合と緊密に連携を図っていたべくとも、被保険者の方々のために適正な申請受付事務および保険料徴収事務を遂行されることを今後も期待し、賛成の討論とする。

## 現地調査 決算審査特別委員会

9月8日に現地を調査しました



高城町駅前公衆トイレ  
高城町駅前公衆便所  
建設工事(建設課)



町道霞ヶ浦枝線  
町道霞ヶ浦枝線避難道路  
整備工事(建設課)



西柳雨水ポンプ場  
西柳雨水ポンプ場の復興事業に係る  
建設工事委託に関する協定(水道事業所)



品井沼農村環境改善センター  
品井沼農村環境改善センタートイレ等  
改修工事(産業観光課)



松島町立松島第五小学校体育館  
小学校体育館照明 LED 化工事  
(教育委員会教育課)



二子屋浄水場  
松島町二子屋浄水場建設工事  
(水道事業所)

・・・このほかにも、町道磯崎・高城町駅線、町道松島海岸・湯ノ原線、勤労青少年ホームを調査しました。

# 議会は進言する

## 町への意見・要望

### 〔総務課所管〕

#### ○消防団員の確保について

消防団員数は、条例定数250人に対し、現在208人である。近年、自然災害が増加していることから消防団員確保のため、さらなる啓蒙活動を望む。

### 〔共通事項〕

#### ○補助金交付目的について

各課で交付する補助金は、事業目的と補助要綱を明確にしたうえで交付されたい。

### 〔企画調整課所管〕

#### ○空き家の利用促進について

平成28年度以降、空き家調査が行われていないことから現状の実態把握に努め、移住・定住対策として空き家バンクの体制整備を図りたい。

### 〔産業観光課所管〕

#### ○生産者の経営安定について

農業は高齢化と後継者不足が問題となっている。生産者の持続的かつ安定した経営と所得向上を図るため遊休農地を活用し、効果的な基盤安定策を構築されたい。

なお、国の補助制度の廃止後も自立した事業が継続できるように、町独自に支援していくべきである。

### 〔教育委員会所管〕

#### ○元禄潜穴穴頭の管理について

町指定文化財である元禄潜穴の現状を把握し、環境保全に努めるべきである。



令和2年度決算審査特別委員会 緑山市朗特別委員長

# 令和3年 第3回 定例会 提出議案

(議員提案1件、条例6件、補正予算8件、決算認定9件、報告2件、陳情1件)

## 陳情第3号 女川原発再稼働を認める宮城県決議への反対表明を求める陳情書について

女川原発再稼働を認める宮城県決議への反対表明を求めるもの

## 議員提案第2号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求めるもの

## 議案第43号 松島町まち・ひと・しごと創生推進基金条例の制定について

法人から寄付された寄付金の適正な管理等、条例を設置する上で必要な事項を定めるもの

## 議案第44号 松島町中小企業・小規模企業者振興基本条例の制定について

中小企業・小規模事業者の成長発展並びに地域活性化を図ることを目的に定めるもの

## 議案第45号 松島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について

マイナンバーカードを利用し全国のコンビニ等で印鑑登録証明書の交付等が出来るように改正

## 議案第46号 松島町町税条例の一部改正について

個人の町民税における非課税の範囲の見直し等を行うもの

## 議案第47号 固定資産評価審査委員会条例の一部改正について

審査申出書等の書面への押印等を不要にするための改正

## 議案第48号 松島町手数料条例の一部改正について

コンビニ等の端末機での証明発行手数料についての所要の改正

## 議案第49号 令和3年度松島町一般会計補正予算(第4号)

令和2年度決算に伴う繰越金等についての補正

## 議案第50号 令和3年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

令和2年度決算に伴う繰越金および一般会計繰出金についての補正

## 議案第51号 令和3年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

令和2年度決算に伴う繰越金を一般会計に繰り出す補正

## 議案第52号 令和3年度松島町介護保険特別会計補正予算(第1号)

令和2年度決算に伴う繰越金および一般会計繰出金についての補正

## 議案第53号 令和3年度松島町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

令和2年度決算に伴う繰越金および介護保険特別会計繰出金について補正

## 議案第54号 令和3年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第1号)

令和2年度決算に伴う繰越金についての補正

## 議案第55号 令和3年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

令和2年度決算に伴う繰越金を一般会計に繰り出す補正

## 議案第65号 令和3年度松島町一般会計補正予算(第5号)

新型コロナウイルス感染症対策についての補正

### 令和2年度各種会計歳入歳出決算認定

- 議案第56号 令和2年度松島町一般会計
- 議案第57号 令和2年度松島町国民健康保険特別会計
- 議案第58号 令和2年度松島町後期高齢者医療特別会計
- 議案第59号 令和2年度松島町介護保険特別会計
- 議案第60号 令和2年度松島町介護サービス事業特別会計
- 議案第61号 令和2年度松島町観瀾亭等特別会計
- 議案第62号 令和2年度松島町松島区外区有財産特別会計
- 議案第63号 令和2年度松島町下水道事業特別会計
- 議案第64号 令和2年度松島町水道事業会計
- 報告第5号 令和2年度松島町健全化判断比率について
- 報告第6号 令和2年度松島町資金不足比率について



# 議案採決結果表

## 表の見方

- ①採決結果 : 賛成全員(可決または採択) → 「全」 賛成多数(可決または採択) → 「多」  
 賛成少数(否決または不採択) → 「否」  
 ②各議員の表決 : ○賛成 × 反対 ③その他 : 欠(欠席) 退(退席) 議(議長)

## 第3回定例会

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	杉原崇	櫻井靖	緑山市朗	赤間幸夫	高橋利典	片山正弘	澁谷秀夫	今野章	太齋雅一	後藤良郎	菅野良雄	高橋幸彦	色川晴夫	阿部幸夫	賛成	反対		
陳情第3号	女川原発再稼働を認める宮城県決議への反対表明を求める陳情書について	9月1日	否	×	○	×	○	×	×	欠	○	×	×	×	×	×	議	3	9		
議員提案第2号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	9月6日	全	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	12	0		
議案第43号	松島町まち・ひと・しごと創生推進基金条例の制定について		多	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	○	○	議	11	1	
議案第44号	松島町中小企業・小規模企業者振興基本条例の制定について		全	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0	
議案第45号	松島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について		多	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	11	1	
議案第46号	松島町町税条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0	
議案第47号	固定資産評価審査委員会条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0	
議案第48号	松島町手数料条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0	
議案第49号	令和3年度松島町一般会計補正予算(第4号)		多	○	○	×	×	○	○	欠	×	○	○	×	○	○	○	議	8	4	
議案第50号	令和3年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		全	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0	
議案第51号	令和3年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		全	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0	
議案第52号	令和3年度松島町介護保険特別会計補正予算(第1号)		全	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0	
議案第53号	令和3年度松島町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)		全	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0	
議案第54号	令和3年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第1号)		全	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0	
議案第55号	令和3年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第2号)		全	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0	
議案第56号	令和2年度松島町一般会計歳入歳出決算認定について		9月15日	多	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	○	議	11	1	
議案第57号	令和2年度松島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について			全	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0
議案第58号	令和2年度松島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について			多	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	○	○	議	11	1
議案第59号	令和2年度松島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	全		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0	
議案第60号	令和2年度松島町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	全		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0	
議案第61号	令和2年度松島町観瀾亭等特別会計歳入歳出決算認定について	全		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0	
議案第62号	令和2年度松島町松島区外区有財産特別会計歳入歳出決算認定について	全		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0	
議案第63号	令和2年度松島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	全		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0	
議案第64号	令和2年度松島町水道事業会計決算認定について	全		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	12	0	
議案第65号	令和3年度松島町一般会計補正予算(第5号)	9月16日		全	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	12	0	

# 議案 審議

## 地方創生応援税制

(企業版ふるさと納税)

企業からの寄附金を活用するため基金を設置

松島町まち・ひと・しごと創生推進基金条例の制定

### 質疑

杉原崇議員

この事業は、

2024年までの時限措置である。今年度からホームページやSNSなどで周知を行ない、寄附検討企業との協議、そして来年度から寄附受け入れということであるが現在、寄附希望されている企業があるのか。それともこれから探すのか。

企画調整課長

現在のと

ころ、本町に寄附したいという企業はない。企業版ふるさと納税制度に取り組みをしないのかという問い合わせは数件ある。

赤間幸夫議員

重点戦略

に上がっている3本に財源充当するために基金設定を行うという考え方だと思うが、上限額11億円の根拠は何か。

企画調整課長

町で計画

した、「まち・ひと・しごと創生推進計画」は定住

政策として初原の新たな土地利用に関する道路の整備や認定こども園整備事業の財源に充てるためと考えている。

今野章議員

初原地区を

市街化区域に編入する手はずで進んでいる。松島イノベーション構想地区の中に道路を整備するという話だと思うが、詳しい説明を聞いた記憶がない。どの程度の予算がかかるのか、また、基金に集めた金がどんなふうに使われるのか。

副町長

事業内容はまだ

議会に示していない。今、県と道路の線形、場所、ルート、位置、幅員構成等々協議中である。

今野章議員

条例は自治

体と企業の癒着を禁止する条文がない。そういう規定を入れておかないとまずいのではないかと、納税した企業名の公表という位置付けをつくる必要があるのでは。

企画調整課長

企業の公

表については、積極的にホームページ、広報紙、SNS等で公表し、感謝状も伝達していきたい。また、初原のイノベーションヒルズ構想は国費を入れて約15億円、認定こども園に関しては、町の持ち出し2億9000万円ぐらいを見込んでいます。

菅野良雄議員

計画の対

象区域は、町全域であるが、この重点戦略は初原、認定こども園、海岸駅前となっている。他の地域には使わないということか。

企画調整課長

それぞれ

の単独の事業にだけというわけではなくて、広く町全体のことを考えている。

色川晴夫議員

11億円の

設定しているが、県内はどんな状況になっているのか。

企画調整課長

計画のつ

くり方によって事業規模は変わる。億を超えた計画をつくっているところはない状況である。

### 討論

反対

今野章議員

企業版ふるさと納税は、企業と自治体の間に癒着を生む恐れがあると指摘をされている。この条例

の中に、癒着を生まないための規定や、企業名の公表などといった条文もあればいいのではないかと。しかし、この制度は、企業の経済的な見返りは禁止されているという答弁しかない。

寄附を受けるといふことに細心の注意を払ったものにしておかなければならない。寄附を募ると

賛成

杉原崇議員

いうやり方は、自治体の間の競争を激化させて、税金の奪い合いをさせるところに問題があり反対する。

この企業版ふるさと納税は自治体と企業とのパートナーシップの構築、ひいては連携協定まで目指せるものである。これからの地方創生や地域活性化に向けて大変必要なものであると思う。この条例を通して基金の運用を行うものであり、財源確保を期待する。

賛成多数・可決



初原地区の計画

松島町中小企業・小規模企業者振興基本条例の制定

## 質疑

**緑山市朗議員** 前の産業

観光課長も今の課長も、条例制定は積極的に考えてはいなかったにもかかわらず条例案が出てきたが、その理由は。

**産業観光課長** 県内市町村の約6割が条例制定していること。また、商工会からの請願を議会で採択したことから提案した。

**赤間幸夫議員** 商工会に加入していることと合わせて商業登記をしていることが、この条例の対象企業となるのか。

**産業観光課長** 商工会に加入しなければならぬというルールはない。いわゆる中小企業、小規模企業者の方を対象とするものである。



**櫻井靖議員** 第8条で、中

小企業・小規模企業者の振興が地域経済の基盤形成や町民の生活向上に重要な役割を果たしていることを理解して、中小企業・小規模企業者の健全な発展に協力するように努めるものがあるが、このままでは町民に対して中小企業・小規模企業者にも聞こえるが。

**産業観光課長** 町民の方

には、店の商品を購入するとか、サービス提供を受けて、その対価を支払うという普通のことと町民の協力と考えている。

**菅野良雄議員** この条例

制定したことによって、町独自にどんな振興策を考えていくのか。

**産業観光課長** 条例を制定したからといって、すぐ変わるといえるものではない。町が総合的かつ計画的に施策を策定し、実施するために的確な情報発信するとともに、中小企業・小規模企業者に対する施策の一貫性を持って展開するものである。

**色川晴夫議員** 条例が制定されると、町はもちろん商工会の責任が重大になってくる。町は、その覚悟を商工会に伝えてほしい。

**産業観光課長** 町と商工会は、野球のバッテリーみたいなものと考えている。制球安定に向けて声

を掛け合いながらアジャストしていく体制を続けていきたい。

**杉原崇議員** 条例施行後、

情報共有や連携の場として、中小企業・小規模企業、支援団体、金融機関、有識者や住民代表などとの協働により具体的な振興策を検討する中小企業および小規模企業振興会を設置する自治体が多々あるが、会議を設置する考えはあるか。

**産業観光課長** 基本計画を策定する際には、商工会や金融機関、および事業者に話を聞き、課題を整理すべきと考えている。協議体を設置するとなれば、規則で定める形になると思う。

賛成全員・可決

松島町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

## 質疑

**櫻井靖議員** 役場でもマ

インナーによる印鑑登録証明書の申請はできるのか。

**町民福祉課長** 役場窓口においては、マイナンバーカードを用いての交付ではなく、従来どおりの印鑑登録証を用いての交付となる。

**赤間幸夫議員** コンビニの多機能端末機を使って個人が申請をし、交付を受けるという対応になるが、個人情報に関する責任の所在は。

**町民福祉課長** 個人情報保護の観点については、地方公共団体情報システム機構と町で結んだ規約に、しっかりと町の責任となっている。

コンビニに迷惑のかわらないように、また申請者に対してもマイナンバーカードと同様に個人情報

の保護に努めていく。

賛成多数・可決

固定資産評価審査委員会条例の一部改正

## 質疑

**赤間幸夫議員** 固定資産

評価審査委員会条例の改正の理由は。

**総務課長** 国でデジタル化を進めていく中で、押印の見直しというの進められており、それに基づいて町においても押印を見直している。関係あるものが今回の条例だった。

賛成全員・可決

# 令和5年4月開園 認定こども園

## 建設事業に 7000万円

一般会計補正予算  
(第4号)

### ● 定住促進事業

300万円

### ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業

9020万円

### ● 暗所視支援眼鏡購入事業

86万9千円

### ● 母子・父子家庭臨時特別支援金給付事業

111万円

### ● 認定こども園推進事業

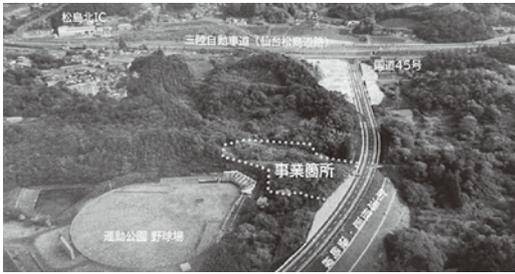
7000万円

### 質疑

認定こども園建設事業について

菅野良雄議員 認定こども園建設事業について、7000万円の補正となった。なぜ、全体構想のもと当初予算に計上できなかったのか。

町長 社会福祉協議会と全体計画に基づいて場面に詰めて進めている。



認定こども園事業箇所

菅野良雄議員 社会福祉協議会の定款の中に認定こども園の運営についての定款がない。定款がない団体に補助金は支出できないのではないかと。

副町長 定款に記載はないが、認定こども園は定款中の「目的達成のため必要な事業」として、今年3月の理事会で決定された。開園までには盛り込むと聞く。補助金は、補助金交付要綱に基づいて交付するものである。

今野章議員 なぜ造成費の全額を補助するのか。建設費の負担割合は、町と社会福祉協議会とで2分の1ずつだったのでは。

副町長 早急に着工にかからないと令和5年4月開園に間に合わない。建設資金のやりくりの都合もあり、建設費については、最終的に国費・県費を除く双方2分の1ずつの負担になるよう調整をする。

### 新型コロナワクチン接種について

杉原崇議員 デルタ株などの発生で重症者や死者が出ている。若い世代も接種の必要性の認識を持っていると思う。今回もつて、当町における集団接種が最終受付になる理由は何ですか。

健康長寿課長 ワクチンの配給量が今回の分をもって、ほぼ最終になる。県では、広域接種を2月末まで少しずつ継続していくスキームを検討中である。

暗所視支援眼鏡について 赤間幸夫議員 今回は2台購入だが、利用希望者はもっといると思う。購入台数を増やせないか。

町民福祉課長 町で把握する対象者は5人だが、潜在的な対象者はさらにいると考える。今回は試験的に使用して、頻度・必要性・緊急性を把握し、対応を検討したい。

片山正弘議員 この眼鏡は、医療機器なのか、一般的な補装具なのか。医療機器なら免税になると思うが。

町民福祉課長 正確には、把握していない。調査する賛成多数・可決

一般会計補正予算  
(第5号)

### ● 新型コロナウイルス感染症対応地方創生事業費

1681万円

### ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業

1億2795万円

### 質疑

色川晴夫議員 休業要請や時短要請に協力した飲食店への補助金について、申請が正しいかどうか調査はしているのか。

産業観光課長 課内2班集体で週1回パトロールを実施している。違反は1件もない。賛成全員・可決

副町長 休業要請や時短要請に協力した飲食店への補助金について、申請が正しいかどうか調査はしているのか。



すぎ はら たかし  
杉 原 崇 議員

# 問 美しい景観を守るためには

## 答 県と連携しながら景観保全に努める



県の植樹事業により  
生育した松が見られる  
毘沙門島

**問** 松くい虫による松枯れ対策の効果をどのように捉えているのか。

**町長** 松枯れ対策を積極的に取り組み、減少傾向にあったが、震災の影響で防除事業を実施できず被害が増大した。宮城県では焼島<sup>やけしま</sup>など松島湾エリアに抵抗性松の苗木を2000本植樹予定であり、町としても伐倒作業や樹幹注入、植樹した抵抗性松の育成を継続していく。

**問** ウミネコの糞害による松枯れ被害対策として行っている餌付け禁止の検証結果は。

**町長** 具体的な検証は行っていないが、ウミネコのコロニーとなっていた磯島での建設工事が進んだことで減少している。

**問** 腹を空かしたウミネコが食べ歩きをしている観光客を襲っており、悩ましい。景観保全と逆行するが、事業者支援としての観点からも、平日限定（繁殖期以外）で餌付け再開を検討しては。

**町長** ウミネコが再来することで糞害による松枯れ被害の増加とウミネコ生態系への影響が懸念されるため、再開は難しい。

一般質問

**問** カワウは島にある松を利用してコロニーを形成しているが、糞害等により樹木が衰弱するため、新たな環境を求めて島々を転々とする。また、魚食性鳥類のため、湾内の小魚が減少しているのではないかと考える。カワウの増加による被害（松枯れや漁業被害）を認識しているのか。

**町長** 松島におけるカワウは増加傾向にあり、最近では青鰻島<sup>アヲナギ</sup>がコロニー化しており、青々とした松がカワウの糞によって白く色づき、松の葉も抜け落ちていく。漁業被害は松島では未調査で不明だが、宮城県が実施した名取川や鳴瀬川水系でのカワウの胃の内容物調査でアユ、サケ、ボウなどの稚魚など約20種類の魚類が確認されたと聞いている。

**問** 景観保全として、カワウの管理計画についての考えは。

**町長** 宮城県では個体数管理、被害防除を目的として、令和3年3月にカワウ対策協議会が設置され、翌4月にはカワウ適正管理指針が定められた。今後は、現在不明である松島湾における漁業被害の把握と景観保全に努められるよう宮城県にも働きかけていく。



ウミネコ



カワウによる松枯れ被害が発生している青鰻島



ごとう よし ろう  
後藤 良郎 議員

## 問 視覚障がい者への支援について

### 答 暗所視支援眼鏡を 町で購入し貸出をしていく

**問** 暗い場所で見えにくくなる夜盲症の方を支援する暗所視支援眼鏡について三度伺う。

暗所視支援眼鏡が開発され、利用者から喜びの声が全国から報告されている。

しかし、この眼鏡の価格が40万円と高額なことから、購入するにはあまりにも負担が大きくてちゅうちよする患者が多い。現在本町の網膜色素変性症の人は何人いるのか。

**町民福祉課長** 町で把握できているのは、8月末現在で5人いる。

**問** 網膜色素変性症についての町長の認識は。

**町長** 国の指定難病のひとつで、網膜に異常が起ころ、暗いところで物が見えにくい夜盲や視野が狭くなるなど視力が低下する病気である。なかでも夜盲は夕方に出かけられなくなり、日常生活がかなり制限されるものとして理解している。

**問** 暗所視支援眼鏡についての考えは。

**町長** 網膜色素変性症により夜盲や視野狭窄の方が使う暗所視支援眼鏡は、視覚障がい者が社会参加をするうえで、有効な用具であると考ええる。

**問** 網膜色素変性症の患者は就労や就学時だけではなく、災害時に身動きが取れなくなるなど生活に困難を極めている状況もある。そのようなときに果たす、この用具の役割は大きなものがあると考ええるがどうか。

**町民福祉課長** 災害時と非常時での暗所視支援眼鏡の役割は大きいものと考ええる。ただし、暗所視支援眼鏡を装着した場合でも安全確保のため白杖を使用したほうがよいとの話をメーカーから伺っている。

**問** この用具については、東北では青森市、八戸市をはじめ全国52自治体で採用されている。仙台市においては、2020年10月に宮城県網膜色素変性症協会から仙台市長へ要望書が提出され、前向きに検討する考えが示されている。

日本国中どこに住んでも同じ支援を受けられることが大変重要だと考える。日常生活用具給付事業に入れていただき患者の負担を減るべきだというのを重ねて申し上げるがどうか。

**町長** 暗所視支援眼鏡は視覚障がい者が社会参加をするのに有効な用具と考ええる。今後は、暗所視支援眼鏡を町で購入し貸出しをすることにより、日常生活用具への追加を検討していく。



暗所視支援眼鏡



あか ま ゆき お  
赤間 幸夫 議員

# 問 災害への備えは万全か

## 答 空振りを恐れることなく、早期に情報発信していく

**危機管理監** 関係機関と連携を図りながらソフト・ハード両面において、自助・共助の活動を支えるよう取り組みに努めたい。

**問** 防災・減災の町としての取組内容とその考えは。

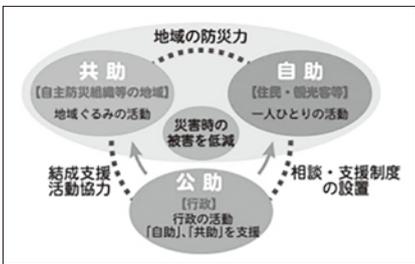
**町長** 相互に連携を図りながら防災・減災に努めることを基本として自らの命は自らが守る自助、地域は自分たちで守る共助、そして行政はそのような活動を最大限に支援する公助の取り組みを基本として、地域の防災力を向上させ被害を最小限にすることが必要である。

**問** これまでの既往水害等の検証成果が、総合防災訓練等に反映されなければならぬ。コロナ禍であるが、その説明の機会を設ける必要があるかどうか。

**危機管理監** SNSを活用した情報発信の充実、備蓄品の整備等を図っており、さらに新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営など、各地区を回りながら自助・共助に対する意識向上と併せ、その対策に取り組んでいる。

**問** 様々な災害想定に対する町長の危機管理に対する認識とは、どのようなものか。

**町長** 避難情報を発令する際には、空振りを恐れることなく早期に情報を発信し住民の命を守ることを最重要視している。



松島町防災マップより一部抜粋



新たな避難情報に関するポスター (内閣府ホームページより)

# 問 共葬墓地等に対する町の姿勢は

## 答 町営墓地条例に取り組みまない

**問** 墓地に対する取り組み姿勢と、町内に点在する様々な墓地と、その形態別の墓地実態の把握は。

**町長** 墓地埋葬等に関する法律、松島町営墓地管理条例に基づき町民の公衆衛生、公共の福祉の増進を図ることを目的として、墓地の新設や改葬等の許可を行っている。

**総務課長** 町営墓地は2ヶ所、寺院墓地が11ヶ所、共葬墓地が13ヶ所、合計で26ヶ所である。

**問** 現状の町営墓地(条例)と共葬墓地等に、管理の差をつける理由はあるのか。

**総務課長** 三浦、古浦町営墓地については、管理条例を設置した上での管理を、町が行う責務がある。共葬墓地については、みなし許可の墓地と見なされているので、公共施設でない限りにおいては、町として管理を直接行うというのは難しいとの認識である。

**問** 町の積極的な是正対応は、難しいことなのか。

**総務課長** 現在ある共葬墓地そのものを三浦、古浦と同じ町営墓地の条例の中に取り込んでいく考えはない。



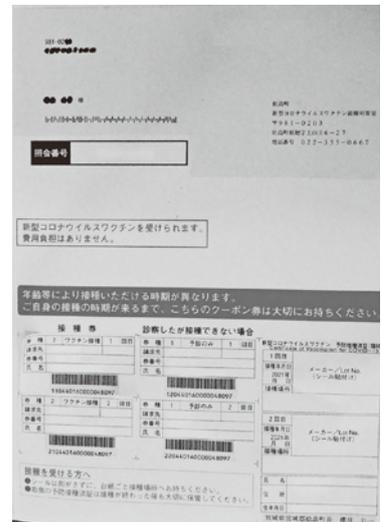
さくら い やすし  
櫻井 靖 議員

# 問 成人用予防接種記録手帳の配布はできないか

## 答 広報やホームページで情報提供したい

**問** 新型コロナウイルスのワクチンは2回接種したからもう安心というわけではない。今後も接種しなければならぬ場合が出てくる。いつ接種をしたか、どんな種類だったのか記録することが大切だ。  
国立感染症研究所では、成人用予防接種記録手帳をインターネットからダウンロードし、記録に役立ててもらえるようになっているが、そのような成人用予防接種記録手帳を配布できないか。

**健康長寿課長** 成人用予防接種記録手帳について早速ホームページで確認した。新型コロナウイルスのほかにもインフルエンザ等の接種記録をご自身で保管することができ、接種済証の紛失を防いだり、接種記録を管理する際、大変有効であると考える。希望する方が活用できるように広報やホームページなどで情報提供していきたい。



予防疫種済証

**問** 成人用予防接種記録手帳を誰でもダウンロードして作るの難しいのではないか。また、今後様々な形で予防疫種済証の提示を求められることが考えられる。  
電子化という流れになると思うが、町民全てがスマホ等を使用することは考えにくい。町民が予防疫種済証を携帯できる形で管理しやすいよう町として手帳を作成すべきではないか。

**健康長寿課長** 町民の皆様の声をお聞きしながら、活用したいとなれば、町でも積極的に考えていきたい。  
また、この成人用予防接種記録手帳の様式は国を代表する機関が考案したもので、当面の間はこちらを使わせていただき、もっと活用を考えたほうがいいとなれば、オリジナルの物を考えていく。

**問** 新型コロナウイルスに対するワクチンだけでなく、ほかの病気に対し

てもワクチンがあり、予防や重症化を防ぐ効果がある。町で他のワクチン接種に関しても情報提供し予防を呼びかけてはどうか。

**健康長寿課長** ワクチンによつては予防できる疾患があるということを知っていただくという観点から、定期予防接種化の無など国や県の動向を踏まえて任意接種の情報としてホームページや広報などで周知していく。



成人用予防疫種記録手帳



あきら 今野 議員

# 問 学校給食の無償化について

## 答 財源の裏付けが必要である



**問** 全国でも県内でも学校給食を無償化する動き

**町長** 家庭環境に左右されずみんなで食する給食は、教育的観点からも有意義と認識している。

**問** 学校給食法は、学校給食を教育の一環と位置づけており、無償化すべきものである。本町の昨年の就学援助数は小・中学校合わせて130名。6人に1人は学校給食費が公費負担である。どの子も差別なく給食を食べられることについて、どう思うか。

が広がっている。無償化の理由は様々だが、継続的な予算の確保や住民の理解が必要であり、自治体のこうした取り組みや努力についてどう思うか。

**町長** 町村で無償化に取り組んでいるのは、人口1万人以下の自治体が多く、まちづくりを考え子育て世代を増やす努力がされていると思う。

**問** 本町の無償化経費を試算すると、小・中学校で無償化の場合4232万円。中学3年生だけで544万円である。就学援助費等の公費負担分を差し引けば、負担はさらに少ない。教育的効果、少子化や定住対策に効果があると思うが、無償化に踏み出す考えはないか。

**町長** 子ども医療費と同様で、始めれば財源がないとの理由で止めるわけにはいかない。給食も同じで財源の裏付けが必要である。

# 問 高齢者のごみ出しに支援を

## 答 検討事項が多く、慎重に判断

**問** ゴミ集積所が遠く大変という高齢者の声がある。集積所を増やすことは出来ないか。

**総務課長** 集積所を増やすことは、行政区からの申請で新設している。土地所有者や集積所に隣接する方々の承諾と10世帯以上の利用が原則で、個別に判断している。

**問** ゴミ集積所のゴミ散乱などの対策として、宝くじ助成金などの活用で金属やプラスチック製の箱にすることなどは考えられないのか。

**総務課長** ネットだけの地域も20ヶ所近くある。宝くじ助成金については、行政区、公衆衛生組合と調整しながらニーズを把握したい。

**問** 一昨年11月、一人暮らし要介護者や障がい者など、ゴミ出し支援をしている自治体に特別交付税を措置する事務連絡があったと思うが、この事業活用を検討されたか。

**町長** 高齢者のごみ出し支援制度は、今年3月に環境省で手引きが公表され、対象者や実施方法、費用収支など検討事項も多く慎重に判断したい。





かのよしお  
菅野良雄 議員

## 問 次世代放射光施設関連企業誘致について

## 答 企業や研究機関の立地動向をみながら誘致活動に取り組んでいく

**問** 次世代放射光施設が東北大学青葉山新キャンパス内に設置されること  
が決定してから3年の時  
が流れた。町は関連する  
企業や研究機関について  
誘致活動を推進している  
が、現在の状況を問う。

**町長** 次世代放射光施設  
の整備推進主体である一  
般財団法人光科学イノベー  
ションセンターや東北経  
済連合会および東北大学  
と連携し、これまで開催  
されているコンファレン  
スに参加し周知活動に取  
り組んでいる。



光科学イノベーションセンターホームページより

**問** 企業誘致は町長の選  
挙公約である。「あまり経  
費を使わず最大の効果を  
出せるようやっていきたく  
い」と答えているが、「次  
世代放射光施設」の関連  
企業の誘致を具現化する  
ため、どのような活動を  
していくのか。

**町長** 企業誘致と併せて、  
定住施策もしっかりと取  
り組んでいきたい。経費  
については、今回、条例  
提案した企業版ふるさと  
納税基金等を活用しなが  
らやっていきたい。

## 問 男女共同参画社会の実現を

## 答 各分野において多くの女性が 参加できるように努めたい

**問** 町の行政委員会およ  
び執行部附属機関合わせ  
た団体数と女性委員数は。

**総務課長** 委員会の数が  
27、委員総数が257人、  
女性の委員数は50人、女  
性の比率は19・46%になっ  
ている。

**問** 男女共同参画社会と  
なっている。町長は、現  
状の女性登用率をどのよ  
うに感じているか。

**町長** 男女共同参画社会  
の実現は世界的な潮流と  
なっている。当町は、遅  
れていると認識している  
ので、各分野において女  
性が参加できるよう努め  
たい。

**問** 町の防災会議に女性  
委員がいないと聞くが。

**危機管理監** 第5次男女  
共同参画基本計画におい  
ては、令和7年度までに  
防災会議の女性委員の割  
合を30%以上に位置づけ  
られており、女性委員の  
採用について検討してい  
きたい。

**問** 男女共同参画基本計  
画を策定している自治体  
は22市町となっているが、  
本町は定めていない。男

女共同参画基本計画を策  
定し、計画的な推進を図  
るべきと思うが、町長の  
考えは。

**町長** 必要と考えており、  
令和4年度中に着手でき  
るようにしたい。

**問** 当議会に女性議員が  
いなくなつて12年になる。  
女性議員を育成するため  
に女性だけの模擬議事を  
開催してはどうか。

**町長** 政治への女性参画  
は必要と理解しているが、  
現時点においては女性模  
擬議会の開催は考えてい  
ない。今後の検討課題と  
させていただきます。



12年間女性ゼロの松島町議会  
(写真は現地調査時のもの)



お かわ はる いろ 色川晴夫 議員

# 問 昨今の豪雨災害と本格的な台風シーズンに備えて

## 答 松島駅周辺の冠水調査の業務委託を発注した

**建設課長** 宮城県資料では、土砂災害警戒区域での土石流で39ヶ所、急傾斜地248ヶ所の合計287ヶ所である。土石流警戒区域では、手樽、桜渡戸地区が多く、急傾斜地は町内全域である。

**問** 7月3日、静岡県熱海市で大規模な土石流が発生し、多くの犠牲者が出た。また、8月10日以降、九州・西日本で千ミリを超す大雨となり、川の氾濫や土砂災害が心配された。これから本格的な台風シーズンを迎える時期、町民の命を守るため早めの対応が求められる。本町は海岸部や山間に急傾斜地、がけ崩れなどの災害危険箇所が数多くあるが箇所数と地区は、

**問** 松島町地域防災計画では、土砂災害への認識と理解の啓発と記されている。今後の取り組みは、

**危機管理監** 今後、広報まつしまなどで周知徹底を図っていく。

**問** 住宅区域で、建設残土や廃棄物での盛土は無いと思うが、どうか。

**企画調整課長** 本町の大規模盛土造成地は、3ヶ所ある。宮城県の竣工検査で廃棄残土が入っていないことを確認している。

**問** 令和元年12月議会で、台風第19号による松島駅、碓田・間坂地区一帯で冠水した際の質問で「瑞巖寺裏手周辺に遊水地的な一定の流量を抑える対策を考える」と答弁しているが。

**水道事業所長** 排水量を調整する検証のため、業務委託を発注した。現地調査と資料収集を終え、大雨時の雨水抑制効果を検証していく。



令和元年台風第19号で浸水のあった碓田・間坂地区

**問** ウイズコロナ・アフターコロナの観光を見据えて

**答** 観光シンポジウム開催は簡単でないが検討していく

**問** ワクチン接種が進み、感染者が減少すれば観光事業の回復が見込まれる。今後の松島観光の方向性と戦略が必須である。町は、アフターコロナの観光をどう考えるか。

**問** 二つ提案したい。一つ目は、瑞巖寺住職の色紙を完成祝いに考えてほしい。二つ目は、今後の観光について、松島でシンポジウム開催の提案を検討してほしい。

**町長** まず国内観光客の誘客に繋がる親善大使によるプロモーション事業や、教育旅行、団体旅行を中心に誘客活動を進めていく。

**町長** 色紙については、町が直接実施するのは難しいが、観光協会・JRとの協議が必要。また、シンポジウムについては、関係する方々と意見を聞いて検討していく。

**問** 今年12月、念願の松島海岸駅が供用開始となる。完成を祝す企画を考えているのか。

**町長** 来年3月にオープンングセレモニー等を検討するが、具体的な内容は詰めていない。JRと協議していきたい。

# 特別委員会報告

## 東日本大震災復興対策 特別委員会調査報告

本町の災害復旧・復興費303億3200万円

に向け「震災に係る被災状況の調査及び復興に関する事項」の調査を行った。復興創生10年の期間中、平成28年に中間報告を提出。本特別委員会の調査が終了したので令和3年第3回定例会で報告を行った。

### 調査結果

平成23年4月26日に本特別委員会を設置、現地調査を含め34回開催された。

#### ①東日本大震災復興交付金事業

本町は、被災者への救援と支援のほか、ライフライン、道路や町施設の復旧対策として「災害に強いまちづくり」の復興計画を立案。

議会の承認を経て、町と宮城県を合わせた復旧復興事業56件（全体事業

費303億3200万円）

に着手、令和2年度末に概ね事業が完了した。発災からの取り組みに対し、町職員、関係者に感謝を申し上げる。

#### ②避難施設関連事業

施設等7ヶ所が新設された。近年の風水害の被災を踏まえ、河川氾濫時の道路冠水に備えた避難場所や施設の改修・新設が必要である。また、維持管理上、施設の利用度を高める方策を検討する必要がある。

#### ③避難道路整備事業

避難道路は、一部地権者の同意が得られず変更になった箇所もあるが全て完了した。今後、交通量の多い場所や道路管理に定期的な補修が必要である。

#### ④内水対策関連事業

大震災による地盤沈下で甚大な被害があった松

島・磯崎地区の沿岸部の内水対策は、雨水の排水機能低下の改善と浸水解消に向け9ヶ所の工事が行われた。今後、台風や想定外の雨量に備えるため、抜本的な対策を講じる必要がある。

#### ⑤松島町地域防災計画

本防災計画は、平成27年に一度改訂されたまま、令和元年台風第19号や新型コロナウイルス感染症の対応で計画の見直しに遅れたが昨年度末に改訂された。「自らの命は自ら」を基本としながらも近年の想定を超える災害やコロナ禍での避難所対応においては、地域や町と県のサポート体制が重要となる。本防災計画は、適時の見直しと原子力災害対策も含めた個別計画の策定を求め、見直し時に、本議会へ示すことを望む。

## 新型コロナウイルス感染症 対策特別委員会 中間報告

### 1. 調査事件

町内事業者等の新型コロナウイルス感染症の影響に関する調査

### 2. 目的および経過

中国から広がった新型コロナウイルス感染症は世界中に拡大した。国内では、令和2年1月に初の感染者が確認されて以来、り患者が急増した。政府は、同年4月7日緊急事態宣言を発令。学校休業、外出や営業自粛など社会経済活動が大きく落ち込む要因となり当町は、観光関連や店舗、各事業所で影響を受けた。

本特別委員会は、同年5月25日の臨時会で設置、現地調査を含め9回開催された。途中、町へ提言書を提出した。

業（事業費5億9190万円のうち、町の一般財源9760万円）が実施された。

コロナ禍とした感染対策と経済活動の両立は続くものと想定される。感染症が収束するまで町全体が一体となり、この難局を乗り越えなければならぬ。

### 3. 調査検討の結果

一般社団法人松島観光協会と利府松島商工会の幹部を招集、各状況下での聞き取り調査を実施した。観光客の減少などで各業界や町の活気が失われ、支援策を6項目に集約した提言書を町へ提出した。一部を除き、具現化されたことは評価できる。

新型コロナウイルスワクチン接種では、町民が混雑なく接種できていることから、町外からも高い評価を受けた（8月10日現在のワクチン接種率は、対象65歳以上者で92・8%、町内全ての対象者では53・3%）。



# 教育民生常任委員会

## 保育教育環境におけるICT活用について

### 1. 調査事件

保育教育環境におけるICT活用について

また、ICT活用として

### 2. 調査目的

国は情報活用能力の育成を図るため、学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実を図るため、学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実を図るよう、GIGAスクール構想を立ち上げ、1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現することとした。

本町でも参考になる。

そこでICT環境整備とICTを活用した学習活動の状況について、町内外の学校、そして保育業務支援システムについて調査した。

### 3. 調査経過の概要

ICT環境整備とICTを活用した学習活動の状況、参考とすべく先行する県内外の学校、そして保育業務支援システムを視察研修し、調査を実施した。

本町でもGIGAスクール構想に則り、タブレット端末やネットワーク環境を配備したが、子どもたち一人一人がICTを利活用できる環境づくりが必要である。

### 4. まとめ

当委員会は、先進自治体の状況を調査・研修することで、本町でも有効になる取り組みなどを研修した。

そこで町当局に対し次の項目について、提案するものである。

#### ① ICT支援員の常駐について

ICT支援員は機材トラブルがあってもすぐに対応でき、教員の負担軽減につながることで、授業に集中できる環境となっている。また、教員の望む授業を実践するための支援を行い、教員の目が行き届かない場面でも、積極的に授業に参加しているため、しっかりとした授業運営が図られている。教員の授業力向上や効果的な授業実践のためにも、ICT支援員の常駐を望む。

ビデオ会議アプリの導入・積極的な活用を望む。

#### ③ 物理キーボードの導入について

本町で導入したiPadは、操作が直感的で簡単であるばかりでなく、拡張性においても優れている。物理キーボードや電子ペンを導入することで、より深い学びを行う事が可能となる。特に物理キーボードを導入しローマ字入力や指導を行うことは、社会生活を行う上でのPCスキルの向上につながる事なので、その導入を望む。

#### ⑤ 保育業務支援システムの導入について

本町では保育士不足が喫緊の課題となっている。また令和5年4月に認定こども園が開園予定であるが、運営主体である社会福祉協議会とも情報共有しながら、高城保育所等も含め、保育士確保に向けて、保育士の負担軽減を図る事による働く場としての魅力向上、保育の質向上のため、保育業務支援システムを導入すべきである。

#### ② ビデオ会議アプリの活用について

新型コロナウイルス感染拡大による臨時休校の際、児童・生徒とのコミュニケーションを図るため、ビデオ会議アプリを活用し効果があつた。また、学校の様子を配信することにより、不登校解消にも繋つており、不登校対策としても導入効果があると考える。町外や海外との交流学習や再度の休校に備えて、

#### ④ 机上スペースの拡張と補償費用の予算化について

教科書の大型化やタブレットの導入に伴い机上のスペースの確保が難しくなっている。タブレットの落下防止の観点からも、サイドテーブル等を使うことで机上のスペースを拡げる工夫を考えていただきたい。



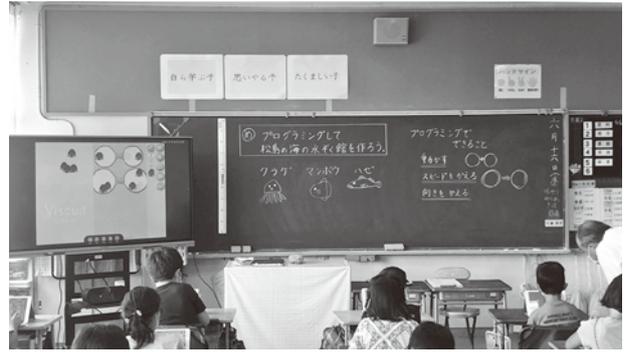
#### 教育民生常任委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 杉原 崇  |
| 副委員長 | 高橋 利典 |
| 委員   | 櫻井 靖  |
| 委員   | 赤間 幸夫 |
| 委員   | 片山 正弘 |
| 委員   | 後藤 良郎 |
| 委員   | 色川 晴夫 |

教育民生常任委員会調査箇所



福島県新地町



松島第一小学校



宮城県富谷市



福島県福島市

総務経済常任委員会

**陳情第3号 女川原発再稼働を認める宮城県決議への反対表明を求める陳情書について**

1. 付託事件

陳情第3号 女川原発再稼働を認める宮城県決議への反対表明を求める陳情書について

2. 調査期日・場所

①会議（8回開催）  
令和2年12月7日（月）  
令和3年1月28日（木）  
2月9日（火）・3月17日（水）・4月27日（火）・6月22日（火）・8月10日（火）・8月18日（水）  
役場会議室他

②調査

・参考人招致  
令和3年7月19日（月）  
301会議室  
東北電力株式会社原子力部より2名  
東北電力株式会社宮城支店より2名

・視察  
令和3年7月30日（金）  
福島県双葉町（東日本大震災・原子力災害伝承館）  
町内主要被災地域

3. 審査（調査）の結果

「不採択」とすべきものとした。

4. 審査（調査）の経過と概要

本陳情は、令和2年12月1日、陳情者代表他16名より本町議会へ陳情書が提出され、令和2年松島町議会第4回定例会本委員会において、総務経済常任委員会に付託された。陳情の趣旨では、原子力発電の安全性に大いに疑義を抱き、自然エネルギーでの電力供給を望むこととし、女川原発再稼働を受け入れるという宮城県決議に反対の意思表明を求めるもので、国のエネルギー政策に関わる

問題の提起に非常に苦慮した。

本委員会では、再稼働の経緯または宮城県、女川町および石巻市での議会における賛否両論の理解を深めたほか、東北電力より招致した参考人からの意見聴取や現地視察など調査を行った。

本陳情の採択において、原発の安全性に疑義が残る委員もあり、採択を可とする少数意見もあったが、宮城県および関係市町議会での再稼働承認の決定、承認した宮城県の意思を尊重したほか、一地方議会が反対表明する限りのものではないとして、採択を可とする多数意見で不採択とした。

総務経済常任委員会

- 委員長 緑山 市朗
- 副委員長 澁谷 秀夫
- 委員 今野 章
- 委員 太齋 雅一
- 委員 菅野 良雄
- 委員 高橋 幸彦

# 一部事務組合議会報告

## 塩釜地区消防事務組合

令和3年7月9日(金)、  
令和3年第2回定例会が  
開催された。

### 行政報告

#### ①火災件数

管内 23件(前年比3減)

#### ②救急出場件数

管内 3461件  
(前年比135件減)

#### ③要介護認定審査判定数

管内 1088件  
審査会開催 37回

#### ④障害支援区分判定件数

管内 52件  
審査会開催数 5回

#### ⑤塩釜斎場の利用実績

管内 436件  
(前年比48増)

\*令和3年3月～5月末



### 議案の審査状況

議案第11号財産の取得高規格救急自動車)および議案第12号財産の取得(りふ斎苑備品)については、すべて可決された。

賛成全員  
片山 正弘議員  
後藤 良郎議員

## 宮城東部衛生処理組合議会

令和3年7月13日(火)、  
令和3年第2回定例会が  
開催された。

### 行政報告

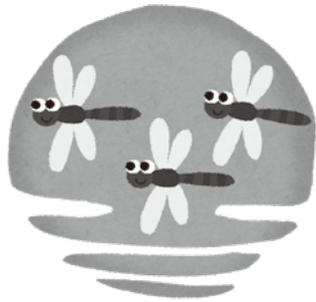
#### ①ごみの搬入状況

(令和3年3月～5月末)  
1万2079トン  
(前年比534トン減)

松島町分

1516トン  
(前年比15トン増)

②焼却灰、排ガス中の放射物質濃度および埋立地浸出水処理水、地下水、各施設敷地空間放射線量の測定結果は、いずれも目安や基準の範囲内にある。  
\*令和3年3月～5月末



### 議案の審査状況

定例会に付議された議案はありませんでした。

今野 章議員  
櫻井 靖議員

## 吉田川流域溜池大和町外3市3ヶ町村組合議会

令和3年7月28日(水)、  
令和3年第1回定例会が  
開催された。

### 議案の審査状況

①報告第1号嘉太神ダム溜池管理規定および貯水位置運用実施要領の一部改正の報告

①および②の2議案について採決の結果、賛成多数で認定、可決されました。  
なお、当日の嘉太神ダム溜池改修事業の現地視察は、雨天のため中止となりました。

太齋 雅一議員

②令和2年度吉田川流域溜池大和町外3市3ヶ町村組合会計歳入歳出決算認定について

③令和3年度吉田川流域溜池大和町外3市3ヶ町村組合会計歳入歳出予算について

# 一般会議

令和3年7月20日(火)

石田沢防災センターで松島町議会一般会議を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年と今年に中止した議会報告会の代替として、各行政区長を招いて懇談をしました。各行政区からは次の要望や意見等がありました。

## 主な発言要旨

**初原区長** 初原ユーユー公園内の木々10本ほどが大きくなり、近隣の田んぼが日陰になる等苦情がある。木々の伐採への支援をお願いしたい。

**議会** 伐採だけでなく剪定を含め検討していただきたい。公園管理は建設課であるので、伐採は協議の上支援を仰いでいただきたい。

**北小泉区長** 2年前の行政懇談会で話をしていた町道沿いの枝葉払いがまだ対応していない。マイクロスバス運転手が「バス運行時枝葉がバスに当たると言っている」。

**議会** バス路線含め町道を巡回して確認、枝葉払いを行っているようである。毎年伸びてくるので、確認不足の所は、早急な対応を図るよう連絡をしていただきたい。

**松島区長** 国道45号沿いの双観山付近の松が枯れ、倒れる可能性がある。事故が起きる前に対応をお願いしたい。

**議会** 町で9月に伐倒駆除を行っております。

**高城区長** 先日の殺人事件を受け、高城区パトロール隊で巡回を行っている。

**上竹谷区長** 台風第19号の時、吉田川の弥勒堂付近の土手が越水をしているのに、河川事務所や町も把握していなかった。消防に頼んで土のう袋を段積みにして越水を止めた経緯がある。河川事務所職員が現状を把握しておらず不安である。また、吉田川土手の草刈りは、国管轄部分は刈られているが下段部分が刈れておらず木々も伸びてきている。一体的な対応を願う。

**議会** 堤防の強化、危機管理等で、要請をしている。また、堤防下段の草刈りについて、町管理部分であり処理をするとしている。

**桜渡戸区長** 初原地区の遊休農地に太陽光発電施設の設置が多くなっている。桜渡戸地区の県

道沿いの遊休農地や荒廃農地に設置されると、景観の問題もあることから、町条例にてガイドラインを制定し、対応してもらいたい。

**議会** 太陽光発電施設等の適正な設置と自然環境との調和を図るため、県のガイドラインと町が提示した指導要綱に基づいて対応してほしい。

**下竹谷区長** 集会施設の統廃合について、耐震構造でない施設は取り壊すと説明を受けたが、区としては維持費を負担してもらい、残してもらいたい。最終結論はできないが、集会施設・避難所として必要である。

**議会** 集会施設を区として維持管理しての存続は理解できる。現存での維持管理にするのか町と協議をされたい。

**初原区長** 初原地区も避難するところがない。志戸内地区に空き家があるので、それを活用するところができないか。

**議会** 避難施設の設置については認識をしており対応を求めている。空き家の活用を含め環境状況を検討し、町と協議の継続を望む。

**幡谷区長** 品井沼環境改善センターの駐車場に数日間、無断駐車していた高級車があった。話を聞いたところ、警察の方で

JRの置き石の事件で捜査しているとのことだった。町のほうに情報が来ていると思うので、情報を共有してもらいたい。  
吉田川の土手で越水があった所から下流のほうに向かって、ボウリング調査を行っている。住民は何かあると思いい不安に思う。そのような情報も区へ下してもらいたい。

**議会** 町ですべてを把握しているとは限らないので、町に問合わせて、情報について共有を図りたい。



議会運営委員会の後藤良郎委員長より町や議会での活動を報告しました

# 町民の声



おおとも よしお  
大友 義雄 さん  
(本郷)

## 松島に住んで

以前、町内の某企業（現在は他の町に移転）を仕事で訪問する機会があり、社員の皆さんからいろいろな話をお聞きしました。その中で皆さんは松島町に住まないで他の市町村から通勤されておりました。その理由として「松島町には何もない。ショッピングセンターや娯楽施設が無いので住んでみたいと思わない」とのことでした。確かに食事のできるショッピングセンター等ができれば便利で、他の市町村で買い物をする回数も少なくなると思います。今はまだ車がありますが、いずれ運転免許証を返納し

て行動範囲が狭くなってきますので地元にか大型店舗があれば便利になると思います。

現在、健康の為に趣味で卓球とパークゴルフを行っています。松島町にはパークゴルフ場がなく、プレーをする多くの人は毎日、他の市町村のゴルフ場に入場料を納めてプレーをしています。高齢者の健康維持のためにも全国大会が開催出来るようなゴルフ場があれば他県からも人が集まってくるのではないかと思います。松島町に住んでみたいと思われそうな町づくりをお願いします。



## 次回定例会は 12月15日(水) 開催予定です。

**議会傍聴の注意** 新型コロナウイルス感染症対策へ、ご理解とご協力をお願いします。

- ・体温チェック・手指消毒・マスク着用をお願いします。
- ・37.5°以上の熱がある方・体調がすぐれない方は、お控えください。

役場庁舎1階「町民の部屋」でも議場の様子を視聴できます。

## 編集後記

町民の皆様から「議会の傍聴になかなか行けないけど議会だよりは見えていますよ」との声を頂戴しております。本紙の重要性を再認識する一方で「議会だよりでは、詳しい経緯まで解らないね」というご意見があることも事実です。編集委員は、議会での議論が結論に至る経緯を解りやすく町民の皆様へ報告することだと自覚しております。しかし、議会の審議内容を詳細にお伝えすることは、限られた紙面では十分でないのかもしれない。現在、インターネット配信など複数の議会広報の検討を進めております。

次号からは新たなメンバーでの編集となりますが、これからも皆様に見やすく親しまれる議会広報を目指し、努力してまいります。

(高橋 利典)

### 広報広聴常任委員会 広報分科会

委員長	高橋 利典
委員	櫻井 靖
委員	杉原 崇
委員	緑山 市朗
委員	澁谷 秀夫
委員	今野 章
委員	菅野 良雄
委員	色川 晴夫